

平成31年度当初予算
部局別要求方針

会計課

部局別予算要求方針

部の現状、課題、予算要求方針等を記入して下さい。

1 31年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

歳入については、金融情勢が先行き不透明ではありますが、安全性及び流動性を担保したうえで、柔軟かつ効率的な資金運用を行い、歳入の確保に努めます。

歳出については、他市の事例等を参考に業務の更なる改善を進め、事務事業の標準化、一般化に努めます。

2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

※部局内での事業の優先順位及び必要性を明記すること。

(優先すべき事業)

- ・ 公金収納業務の安定稼動
- ・ 地方公会計制度の運用
- ・ 安全かつ効率的な資金運用

(事業の必要性)

- ・ 元号変更に伴うプログラム修正・科目コード変更に対応するほか、納付書フォーマットの管理を行うなど、収納業務の安定稼動に向けた取り組みが必要です。
- ・ 国が定める統一的な基準による地方公会計財務書類は、行政改革の基盤であり、財務書類をしっかりと作成する仕組み作りと体制整備が求められています。
- ・ 資金運用は、財政健全確保を目的とした事業として捉え、安全性と効率性に考慮しながら適切にコントロールする必要があります。

3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)

業務リスク管理、統一的な基準による地方公会計の運用、柔軟かつ効率的な資金運用など、求められる役割に対応するため、従来からの基幹業務である調書審査、出納業務の効率化に取り組みます。